

平成26年第2回定例会

「課設置条例等の一部を改正する条例」は委員会付託

松田町議会第2回定例会は、6月4日（水）から6日（金）の3日間の会期で開催しました。主な議題は、1日目（4日）が一般質問6件、2日目（5日）が一般質問2件・承認2件・議案1件、3日目（6日）は議案2件、陳情と報告1件、農業委員の推薦などについて審議しました。

また、初日の冒頭に行われた町長の行政報告で、「松田町課設置条例等の一部を改正する条例」を説明する際に、「4年は新規職員を採用しない」という選挙公約を撤回しました。主な審議内容については、次のとおりです。

議案第19号

「松田町課設置条例等の一部を改正する条例」

町の重要課題、国等の政策に起因する事務量増加などに対応するため、現体制より3課2担当室3係を新設するものです。この議案については、総務文教常任委員会へ付託して継続審査することになりました。なお、本会議での主な質疑は、次のとおりです。

（関連記事・8ページ）

質 選挙公約で「4年間新規職員を採用しないでワークシェアリングで対応することであったが、

答 （町長）

町民サービスを向上す

るため、機構改革を行い3つの課を増設したい。そのためには、現状の職員数では、これ以上の町民サービスが望めないの

で、職員定数の範囲内

新規職員を採用していきたい。町長として、多くの公約を実現するために、「4年間は新規職員を採用しない」という公約を撤回する。

この課にしたことは、

答 （副町長）

町の最大の懸案事項である新松田駅南口や北口を整備していくには、現在の建設課が上下水道を担当することは厳しい。上下水道と環境の窓口業務を一本化することで、合理的な対応ができるものと考えている。

質 町長は、青少年体育や高齢者体育を向上するために、スポーツに力を入れるとのことだが、担当の教育課は1係の新設

答 （副町長）

引き続き、体育協会にスポーツ大会を委託していく。学校や町民文化センターなどの施設管理を適切に行うため、施設係を新設した。

質 条例改正の提案理由に、国等の政策により事務量が増加したとのことだが、詳しい説明を。

答 （庶務課長）

具体的な事例を取りまとめた資料について、後日、総務文教常任委員会で提示する。

質 環境と上下水道を一



役場1階・事務室風景

平成26年度 補正予算

一般会計補正予算（第1号）が提案されました。歳入歳出それぞれに244万4千円を追加し、予算総額39億8,244万4千円としました。

歳入の内訳は、コミュニティ助成事業助成金200万円と、消防費基金収入としての36万3千円が主なもので、これらの財源は防災備品購入費や退職消防団員の報償金に充てられます。

これ以外の歳出の主なものは、町組織の機構改革に伴う課名の変更表示や電話機の移設など、経費の総額は299万9千円で、予備費を減額し計上されました。